



みどりの森くろつち学園小郡市立立石中学校 令和8年6月8日

立石中学校だより 校長 野中文明 第5号

【学教育目標】郷土を愛し、自分で考え、自ら行動する子どもの育成

【重点目標】自分の考えや意見を分かりやすく伝える 【合言葉】思ったことを伝え合う教室に



夏の中体連大会が始まりました。3年生は進路について考える機会が増えていきます

全軟の県大会（野球部）が開催されました。非常に惜しかった！

5月24日（日）に全日本少年軟式

野球福岡県大会が、うきはスポーツアイランドにおいて開催されました。この大会は、全国大会につながる大会で各地区の予選を勝ち上がったチームがトーナメント戦を行います。立石中は、2回戦からの登場で初戦の相手は前原東中学校でした。均衡した試合展開で回が進む中、5回の表に待望の1点を先取して、1-0のスコアのまま最終回を迎えましたが、惜しくも逆転されサヨナラ負けを喫しました。残念な結果でしたが、いい試合だったと思います。中体連の大会でも期待しています。保護者の皆様、たくさんの応援をありがとうございました。



中体連ブロック陸上大会が開催されました。優勝おめでとう！

5月30日（土）に中体連ブロック陸上大会が、小郡市陸上競技場で開催されました。毎年、夏の中体連の大会は、この大会をもってスタートします。本校からは**1年生の** **さん**が**1年男子1500m**に出場し、見事に大会新記録で**優勝**しました。柳さんは、6月15日（月）に久留米市陸上競技場で開催される、中体連筑後地区陸上競技大会にブロックの代表として出場します。優勝おめでとう！！



高校の先生による出前授業を受けました。

6月3日（水）に高校の先生に来ていただいて、3年生を対象とした出前授業を行っていただきました。この取り組みは、実際に高校の先生の授業を体験し、**卒業後の進路を自分事として考える**きっかけづくりと、高校へのギャップの解消を目的に行っています。子どもたちは、最初は緊張した面持ちでしたが、次第に緊張もほぐれて笑顔で授業を受けていました。高校進学が人生の目的（＝ゴール）ではありません。しかし、目の前の一番近くにある「**自分の人生の中の目標の1つ**」だと思います。**どのような進路を選択するのかは、自分が決める**ことです。ただ、そこには「合格・不合格」というものがあり、「合格・不合格の決定は、自分自身ではコントロールできない」という現実があります。すべては、**人のせいではなく、自分の考え方と行動の積み重ねの結果**です。みなさん、なりたい自分になるために、今、行っている行動は何ですか？

様々な刺激や機会を逃さないでほしい。豊かな体験が皆さんを成長させてくれます。

学校では、教科の授業以外にも様々な学びがあります。また学校の中だけではなく、学校の外にも学ぶことのできるつながりがあります。私は、さまざまな機会を成長の糧にしたいと思っています。そして、成長につながる「**する？**」か「**しない？**」の**選択場面**では、「**する！**」を選んで**チャレンジ**をして欲しいと思っています。学校や地域の中には、さまざまな刺激や仕掛けがたくさんあります。いろいろな要素を全身に取り入れてください。



< 暴排教室 >



< 異学年交流 >



< 給食指導 >



< くろつちカフェ打合せ >



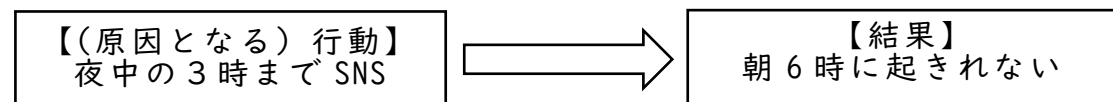
= **目標設定のスキル** × **振り返りのスキル** × **習慣化のスキル**
 主体的により選択ができる 行動の質があがる 労力は最小、結果は最大

皆さんは、結果を目標にしていますか？行動を目標にしていますか？

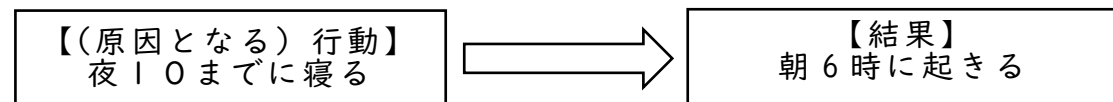
皆さんは、現在、期末試験に向けて勉強に励んでいることと思います。期末試験を楽しめる人は、あまりいないかと思いますが、「**目標設定→実行→振り返り→改善**」という、物事を達成したり、上手くなるための「**一生役に立つスキル**」を身につけるには**絶好の機会**だと思います。

ところで、皆さんが目標に設定したものは、「結果」ですか？それとも「行動」ですか？私は、結果を出すためにする「**行動**」を**目標にすることをお勧め**します。それには2つの理由があります。

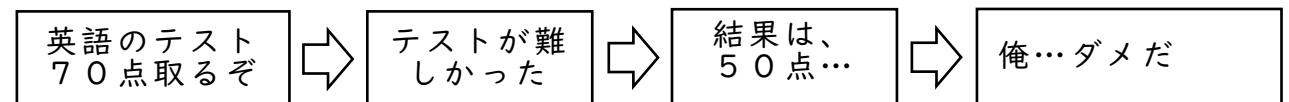
1つ目の理由は、**結果は行動によって生み出される**からです。例えば、部活の朝練があるので、6時に起きることを目標にしたとします。ところが、前日の夜中の3時までスマホでSNSをしていたために、6時に起きることができませんでした。この場合、「6時に起きれない」という結果を生み出したのは、「夜中の3時までSNSをしていた」という行動です。原因といってもいいと思います。



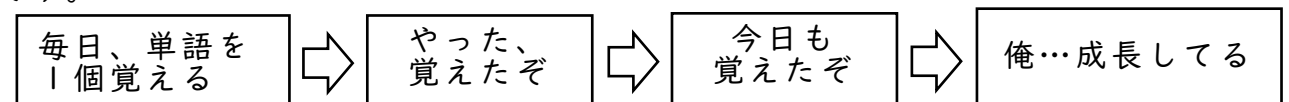
気を取り直して、次の日こそは6時に起きようと思いました。ところが、同じように夜中の3時までSNSをやっていたので、また起きることができませんでした。また翌日も、同じことの繰り返しでした。結果には、その結果を導く元となる原因があります。つまり、原因となる「**行動**」が**ずっと同じなら「結果」もずっと同じ**ということです。すなわち、「6時に起きる」という結果を目標にするためには、夜中3時までのSNSという行動を変えて、新たな行動を目標にする必要があるということです。



2つ目の理由は、「実際に出了結果」が「**目標とする結果**」と**大きくかけ離れていた場合、やる気を失くして、諦めてしまう可能性もある**からです。しかも、結果を目標とした場合、自分の力だけではコントロールできない場合があります。例えば、バスケットボール部に所属していたとします。そして、夏の中体連ブロック大会でベスト4を目標にしました。しかし、対戦相手を決めるくじの結果、自分たちよりはるかに強い優勝候補と1回戦から当たる可能性もあります。また、英語のテストで70点を目標にして、しっかりと準備をしたとします。しかし、当日、めちゃくちゃ英語のテストが難しくて、50点しか取れない場合もあるかも知れません。



でも、ベスト4を達成するために、毎日、3点シュートが1本入るまで練習する。あるいは、70点取るために、毎日、単語を1個覚えるという**行動を目標にすれば、少なくとも毎日、「出来た」という達成感と自分自身が成長していることを実感**することができます。何より、**毎日の行動が習慣化**され、行動が当たり前となるだけではなく、できることも増えていくはずですよ。



もちろん、結果を目標にすることは大切です。私は、結果を目標にしてはいけないと言っているわけではありません。むしろ、結果を目標とすることは、必要なことだと思います。しかし、**大事なことは、必要な行動をすることです。行動せずに結果だけを求めるのは、むしろ良すぎます。**また、行動したのに結果が伴わない場合は、「**行動量が足りていない**」か「**行動が的を得てない**」のどちらかです。だから、改良が必要です。でも、これは行動したからこそ分かることです。そして、**一生モノの「自分なりの上手くなる方法が身につきます。」**